

被災地の被災状況調査のため 立山砂防災害支援班(TEC-FORCE)を派遣

立山砂防事務所では被災地の被害状況調査のため、災害支援班(職員4名、運転手2名)を13日(日)から17日(木)にかけて被災地に派遣しました。

派遣先は宮城県北部の北上川下流事務所 鹿島台出張所管内吉田川と鳴瀬川の堤防や施設の調査を実施してきました。



現地の状況は、海岸から5~10kmの範囲で、特に東北自動車道から東側の被害が目立ちました。

地震による建物倒壊に比べて津波による市街地の被害が顕著でした。



また、電気・ガス・水道のライフライン及びガソリンが不足しており、緊急車のみ通行する高速道路でも給油量を「2000円まで」や「20Lまで」など制限され、且つ当日のタンクにある限りという状況でした。